

保護者向け啓発リーフレット(12月)

《インターネットに関する事件(11月)》

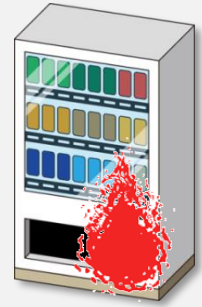
北海道教育委員会
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

実際の事件の例

11月に起こったインターネットに関する事件の中から、以下の事例を参考に、インターネット上で起こりうるトラブルについて考えてみましょう。

《事例》

高校1年生の男子4人が、自動販売機の釣り銭口に火をつけ、釣り銭のケースを溶かして小銭を盗んだとして、器物損壊と窃盗の疑いで逮捕された。生徒たちは動画投稿サイトで盗む方法を知り、犯行の直前にもスマートフォンでその方法を確認していたという。同月内には同様の容疑で小学6年生の男児が補導される事件も発生した。



インターネット上の情報

インターネット上には不適切な行為を助長する様々な情報が存在していますが、その中でも事例のような動画サイトは、小中学生の利用者も多く、情報の善悪、真偽が判断できない年齢の場合、興味本位で試してしまう危険性があります。

インターネット上の情報には、社会のルールやモラルとして許されないものが多く含まれていることを理解させることが必要です。

「裏技」の投稿

事例のような情報は「裏技」としてインターネット上に公開されています。事例のように過激なものは、あまり人目のつくところには出てきませんが、有名な動画サイトでも、違法ダウンロードの方法やピッキング（鍵開け）の方法などは、簡単に視聴することができますので、子どもが意図せずにそのような動画にたどり着いてしまうことも考えられます。



※画像はイメージです

ご家庭での対応

本来、インターネット上の情報の善悪、真偽は見る側が判断しなければいけません。それがまだ難しい年齢の子どもの場合、安易に真似をしてはいけない内容の動画があることや、それが原因で実際に逮捕される人もいることを伝えましょう。

その上で、動画を見るときは保護者と一緒に見ることや、そばにいないことのできない場合は、あとでどんな動画を見たかを確認するなど、子どもがどのようなサイトを見ているのか、しっかり把握しておく必要があります。